令和4年度実績分　武蔵野市　市民活動団体等との事業実施状況調査

事業数一覧表（事業実施の分野・事業実施の形態別）

調査対象部署　52
うち、市民活動団体等との事業を実施している部署　23
うち、市民活動団体等との事業を実施していない部署　29

1. 総括票

分野＼形態	1 委託	2 共催	3 実行委員会・協議会	4 事業協力	5 補助・助成	6 企画立案への参画	7 情報提供・情報交換	8 その他（協賛など）	計
1 保健・医療・福祉の増進	18	2			3				23
2 社会教育の推進		1		3	4				8
3 まちづくりの推進					1				1
4 観光の振興									0
5 農山漁村又は中山間地域の振興									0
6 学術・文化・芸術・スポーツの振興	9	1	1		1			1	13
7 環境保全	5	1		1	3				10
8 災害救援								1	1
9 地域安全					3			1	4
10 人権擁護・平和の推進			1		1				2
11 国際協力									0
12 男女共同参画社会の形成の促進	1				1	1			3
13 子どもの健全育成	15	1	1	3	9		1		30
14 情報化社会の発展									0
15 科学技術の振興									0
16 経済活動の活性化									0
17 職業能力開発・雇用機会拡充の支援									0
18 消費者保護			1		1				2
19 1～18の活動を行う団体への支援			1		3				4
20 1～19の活動に準ずるもの									0
21 1～20に該当しないもの			1						1
合計	48	6	6	7	30	1	1	3	102

※上表に数えられている事業のうち、財政援助出資団体に委託している事業（12件）については、次葉からの一覧に掲載はありません。

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
1	1	シルバースポーツ大会	武蔵野市老人クラブ連合会	共催	【目的】 高齢者にスポーツ活動を普及させ、健康増進および交流を図る。 【事業内容】 市内を３ブロックに分け、３組対抗で得点を競う。団体競技に重点を置いたプログラムで実施。	377人	高齢者支援課
2	1	敬老福祉の集い	武蔵野市赤十字奉仕団	共催	【目的】 敬老のお祝いとしての式典・演芸のイベントを開催することにより、高齢者が一堂に会して、演芸を楽しむとともにお互いの健康を祝い、明日への活力の一助とするための貴重な機会とするため行われている。また、日頃外出する機会が少なくなっている高齢者もこの敬老福祉の集いに参加することは楽しみにしており、外出の促進にもつながっている。 【事業内容】 ９月15日現在77歳以上の方を対象に、長寿をお祝いする式典・イベントを武蔵野市民文化会館で毎年１０月上旬頃に開催する。該当者には友愛訪問の際に、日程等を案内状でご案内する。	対象者15,301名のうち1,046名が参加。(参加率6.8%)	高齢者支援課
3	1	声の市報制作	朗読奉仕の会むさしの	委託	【目的】 視覚障害者が市報の内容を知ることができるようにするため、委託事業として、内容を朗読した音声版市報「声の市報」を制作し、対象者に配布する。 【事業内容】 受託者は、市報ゲラをもとに内容を朗読したＣＤ（デイジー）を制作し、市報発行日を含め５日以内に、市が指定する対象者に配布する。配布終了後７日以内に配布実績等を市に報告する。	25回発行。配布対象者約30人	秘書広報課
4	1	声の議会だより制作	朗読奉仕の会むさしの	委託	【目的】 視覚障害者へ市議会活動内容等の情報を提供する。 【事業内容】 市議会だよりの内容を録音し、視覚障害者（希望者）に個別配付する。	年４回配布、19人	議会事務局
5	1	難聴・言語障害学級運営事業	PC要約筆記ユニットアルファー	委託	【目的】 聴覚に障害のある児童・生徒及び上手く発音できない音がある又は、話し言葉のリズムがスムーズではない等の児童の困難さを通級指導により改善することを目的とする。 【事業内容】 入学式、卒業式、卒業生の話を聞く会、合唱コンクールにおいて、パソコン要約筆記により、スクリーン投影を行う。	１学級、３回／年	教育支援課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
6	1	高齢者食事学事業	高齢者食事学研究会	委託	【目的】 レシピの配布、動画やイベントを通して市協力栄養士から高齢期の栄養についてのアドバイスを受け、食べること、作ることの楽しさを学ぶ。 【事業内容】 「高齢者食事学研究会便り」としてシニアのためのレシピを公共施設等に設置するほか、動画を制作。また、栄養講話を開催した。	レシピ４回発行　動画１本作成　栄養講話10回開催	高齢者支援課
7	1	地域活動促進事業（スポーツ活動）	武蔵野市障害児水泳クラブ　　いるか	委託	【目的】 在宅の心身障害のある方の地域での余暇活動と居場所づくりの支援。 【事業内容】 毎月、原則第２・第４土曜日に水泳活動を行う。	20回実施　利用者延43名	障害者福祉課
8	1	地域活動促進事業（文化活動）委託	ふれあいくらぶ	委託	【目的】 在宅の心身障害者のある方の地域での余暇活動と居場所づくりの支援。 【事業内容】 原則第１・第３土曜日に、文化活動（絵画・料理教室・ミニコンサート等）を行う。	21回実施　利用者延185人	障害者福祉課
9	1	地域活動支援センター事業	特定非営利活動法人ミュー	委託	【目的】 障害者等が通うことで、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進、その他障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。 【事業内容】 市内の地域活動支援センターの１つであるライフサポートMEWに事業実施を委託。 （１）基礎的事業 ①創作的活動及び生産活動の機会の提供、②社会生活及び地域生活における交流の促進のための活動、③日常生活の支援、④相談支援事業 （２）機能強化事業 ①専門職員（精神保健福祉士等）を配置し、医療・福祉及び基幹相談支援センター等地域の社会基盤との連携強化のための調整、②地域における福祉活動に係るボランティアの育成、③市民が障害に対する理解を深めるための啓発活動 【前回からの変更点】 令和２年度から、人員体制強化を目的として委託料を600万円引き上げ	相談者数：2,026件（前年度3,691件） 来所者数：3,045件（前年度3,272件）	障害者福祉課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
10	1	精神保健福祉啓発事業	特定非営利活動法人ミュー	委託	【目的】 精神障害のある方に対する理解を深め、精神障害のある方の社会経済活動への参加促進を図るため。 【事業内容】 精神保健福祉に関する、一般市民等を対象とした広報啓発活動を行うこと。	精神保健福祉講演会 テーマ「大人の発達障害～特性とともに幸せに生きる～」 参加者（会場）45名　（後日動画配信：視聴回数延べ244回）	障害者福祉課
11	1	親なき後講座事業等	特定非営利活動法人むさしの成年後見サポートセンター　こだまネット	委託	【目的】 成年後見制度についてひろく市民等に理解を促すとともに、同制度の将来的な活用を検討する市民等が、利用にあたっての手続きや制度の効果的活用方法（擁護者なき後も被成年後見人等が自分らしく生きていくために、擁護者から成年後見人等へ引き継ぐべき事項等）について習得する。 【事業内容】 ①親なき後オンライン講座事業、②講演会、③親なき後個別相談会	①講座４回　参加者；49人 ②講演会１回　参加者：17人(動画視聴52人) ③個別相談会３回　参加者： 10人	障害者福祉課
12	1	自殺予防　市民こころの健康支援事業	特定非営利活動法人ミュー	委託	【目的】 ・より多くの市民が、自殺者が多くいる社会的背景やメンタルヘルスを学んだり、自殺対策に関わる支援者の実体験等を聞く機会を作り、自殺に追い込まれる前に気軽に相談できる社会の共通認識を醸成する。 ・市民が気軽に相談できる環境を作ることにより、メンタルヘルスの向上に寄与する。 ・自殺死亡率を減少させる。令和元年～4年度の平均自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）を15.6以下とする。 ・新型コロナ感染症の影響により低下したインフォーマルな相談機能を補完する。 【事業内容】 ・市民生活において、自殺に追い込まれる原因となるような病気や障害、多重債務、職場や学校でのいじめ、家庭での虐待など、さまざまな問題について精神保健福祉士等が電話や対面で相談を行う。また、適切な関係機関につなげる体制を作ることによって、自殺の防止に努める。 ・自殺対策強化月間に合わせて年2回、自殺対策に関する講演会（会場及び後日動画配信）を開催する。また小学校、大学、PTA、地域団体などの団体からの要請を受けて出前講座（年間10回程度）を開催する。	相談実績：計311件（うち電話相談260件、来所相談51件）（令和3年度257件→令和4年度311件） テーマ講座：①「生きづらさ」を取り除く極意とは　講師：岡　檀（慶応義塾大学SFC研究所特任准教授） ②上手なこころの守り方　講師：鎌田敏（こころ元気研究所所長） ③出前講座実績：３回、計36名参加	障害者福祉課
13	1	ひきこもりサポート事業	特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク	委託	【目的】 武蔵野市ひきこもりサポート事業実施要綱に基づき、ひきこもり当事者とその家族等の社会性回復のための支援、およびひきこもりの予防対策、受け皿としての地域への啓発活動を行うことを目的とする。 【事業内容】 ひきこもりの当事者（15～49歳）とその家族等への支援（相談支援、ワークショップ、当事者の活動支援、市民への啓発活動、社会資源活用によるネットワークづくり等）を実施。 ひきこもりの理解を深めるためのフォーラム開催も含む。	来所相談591件、電話相談37件、訪問相談3件、メール相談1件、家族セミナー７回、講演会2回、その他フットサルなど	生活福祉課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
14	1	テンミリオンハウス事業	テンミリオンハウス事業運営団体７団体 ※欄外参照	補助・助成	【目的】 地域における多様な人材の協力で、地域の工夫により、介護や見守りなど、必要な支援を行う。主にミニデイサービスなど。 【事業内容】 既存の建物を利用して小地域における「共助」による柔軟な地域福祉活動を行うための支援を行う。 施設整備＝市への寄贈物件や活用度の低い市保有物件などを改装し、公募により選定した運営団体に対し無償貸借する。 運営費用＝運営団体に対し年間1000万円を上限とし、運営費用を補助する。 運営支援＝市民社会福祉協議会に運営・起業支援を委託し、運営団体にとって自由度の高い運営環境を確保する。 【前回からの変更点】 運営団体に対して、物価高騰対応に要する費用や感染症対策費用等を追加補助	川路さんち、月見路、そ～らの家、きんもくせい、花時計、くるみの木、ふらっと・きたまち 延利用者数　30,428人 登録者数　1,053人 延ボランティア数（人）　4,468人 ※児童含まず	高齢者支援課
15	1	いきいきサロン事業	いきいきサロン運営団体22団体 ※欄外参照	補助・助成	【目的】 任意団体等が高齢者の通いの場を設定することで、高齢者の社会的孤立感の解消、介護予防、認知症予防及び健康寿命の延伸を図り、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を継続できるようにする。 【事業内容】 概ね65歳以上の高齢者を対象に、週１回以上・２時間程度の介護予防のための健康体操等を含むプログラムを行う。 団地集会室や個人宅等で活動し、無断欠席の場合は安否確認を行う。 基本プログラム以外に、子どもや若者・障害者との交流を図るサロンもある。	延べ開催日数　941回、延べ利用者数　8,861名（市内在住・65歳以上） 補助額　5,487,972円	高齢者支援課
16	1	中途失聴・難聴者のための手話講習会事業	中途失聴・難聴者の会「むさしの」	補助・助成	【目的】 中途失聴・難聴者のための手話講習会に要する経費の一部を市で補助し、講習会の円滑な運営を支援し、中途失聴者及び難聴者の手話技術の習得を図ることを目的とする。 【事業内容】 原則第１・３土曜日に、市内在住の中途失聴者及び難聴者を対象とし、手話講習会を開催する団体に対し、講習会開催費用（講師謝礼、印刷製本費など）の補助を行う。	手話講習会を23回実施	障害者福祉課
17	2	文庫活動助成事業	武蔵野市文庫連絡会	共催	【目的】 一般市民に図書館資料の魅力を紹介すると同時に、文庫活動をＰＲし、文庫連絡会員相互の交流・研修の場とする。 【事業内容】 年２回（春・秋）、講座や講演会を実施している。	小宮由氏（翻訳家）講演会「子どもたちに物語の楽しみを～絵本から幼年文学へ」　参加人数　29人 山花郁子氏（児童文学者）講演会「平和の種をにぎりしめて～子どもの本と歩む91歳の道のり～」　参加人数　33人	図書館

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
18	2	障害者サービス事業	武蔵野市立図書館朗読奉仕の会	事業協力	【目的】 「すべての人にすべての図書館サービス・資料を提供すること」は、図書館が実施するべき基本的サービスであり、図書館を利用することに障害なくサービスを受けられるようにすることを目的とする。 【事業内容】 音訳図書作成、対面朗読サービス、個人用音訳資料作成（プライベートサービス）、情報資料作成をボランティアが実施。 音訳技術向上を目的として、ボランティアに対し、市は研修と、隔年でボランティア養成講座を実施。 月1回の定例会において、情報交換や課題について話し合いを行っている。	録音図書デイジー24冊作成。対面朗読を中央図書館にて延べ46人50時間、武蔵野プレイスにて延べ20人22時間。 情報資料の提供として、新作情報の提供を年６回25人、声の会報を年６回26人、週刊誌を週１回14人、新聞切抜き帳を週１回14人分作成。	図書館
19	2	障害者サービス事業	六実会	事業協力	【目的】 「すべての人にすべての図書館サービス・資料を提供すること」は、図書館が実施するべき基本的サービスであり、図書館を利用することに障害なくサービスを受けられるようにすることを目的とする。 【事業内容】 音訳デイジー資料のタイトルなどの点訳を図書館の依頼により実施。 団体研修の一部を市が負担、実施。 月1回の定例会において、情報交換や課題について話し合いを行っている。	録音図書デイジー24冊、マルチメディアデイジー4冊のタイトル、著者、収録時間等の点字テープの作成。バリアフリーイベントへの協力。	図書館
20	2	おはなし会の実施	任意団体	事業協力	【目的】 素話、絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター、工作、折り紙等を行い、子どもたちに本の楽しさを知ってもらう。 【事業内容】 月１回のおはなし会の実施。 年１回のこどもまつりでのおはなし会の実施。	月１回のおはなし会（３館×20分） こどもまつりでのおはなし会（３館×30分）	図書館
21	2	社会教育関係団体等育成援助事業	社会教育関係団体登録団体	補助・助成	【目的】 社会教育関係団体の自主的な活動を奨励するため。 【事業内容】 ①社会教育事業講師謝礼援助 団体が、広く市民に共通した生活課題、社会問題等をテーマとして、一般市民を対象に公開で学習会、講演会等の自主的な事業を行う場合に、講師謝礼金の一部又は全部を援助する。 ②社会教育借上げバス事業 団体が研修などの社会教育活動を行う際に使用する交通手段として、「武蔵野市社会教育関係団体バス借上料補助金交付要綱」に基づき、原則として１団体、年１回の借上バス費用の補助を行っている。	①講座回数：６件 ②使用団体：19団体	生涯学習スポーツ課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
22	2	生涯学習事業費補助金	特定非営利活動法人又は任意の市民団体（その他要件あり）	補助・助成	【目的】 主に武蔵野市内で活動し、構成員の半数以上が市内に在住、在勤、在学している団体が、主に市民を対象とし、市内において実施する生涯学習事業に要する経費の全部又は一部を補助することにより、団体が日頃の活動では取り組むことが難しい新規事業の立上げとその事業の自立を促し、市の生涯学習の発展に寄与することを目的とする。 【事業内容】 １団体１事業50万円を限度として補助する。交付団体及び交付額は、申請書類及びプレゼンテーションに基づき、社会教育委員の会議の意見を踏まえて決定する。 【前回からの変更点】 これまで運用等で対応していた細やかな事項について、実態に即して要綱で明文化した。	申請：８団体 交付決定：６団体 交付額計：1,855,228円 精算後額計：1,522,949円	生涯学習スポーツ課
23	2	子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金	特定非営利活動法人又は任意の市民団体（その他要件あり）	補助・助成	【目的】 主に武蔵野市内で活動し、構成員の半数以上が市内に在住、在勤、在学している団体が、主に満19歳以下の市民を対象とし、市内において実施する生涯学習事業に要する経費の全部又は一部を補助することにより、団体が日頃の活動では取り組むことが難しい新規事業の立上げとその事業の自立を促し、市の生涯学習の発展に寄与することを目的とする。 【事業内容】 １団体１事業50万円を限度として補助する。交付団体及び交付額は、申請書類及びプレゼンテーションに基づき、社会教育委員の会議の意見を踏まえて決定する。 【前回からの変更点】 これまで運用等で対応していた細やかな事項について、実態に即して要綱で明文化した。	申請：６団体 交付決定：６団体 交付額計：1,945,210円 精算後額計：1,711,543円	生涯学習スポーツ課
24	2	市民芸術文化協会育成事業	武蔵野市民芸術文化協会	補助・助成	【目的】 市民生活をより豊かなものとする芸術鑑賞の機会を広く市民に提供し、また、市民自らが主体的に参加できる芸術活動を支援するため。 【事業内容】 市内の芸術文化団体の育成・支援、成果発表の機会・場の提供、芸術関係講座の実施等を行っている。	所属団体数：134団体 会員数：3,985人 芸文協自主事業開催：参加者延3,551人	生涯学習スポーツ課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
25	3	コミュニティ協議会活動補助事業	各コミュニティ協議会（16協議会）	補助・助成	【目的】 地域社会と市民活動の活性化を図り、コミュニティが発展していくことで、市民生活がますます充実していくことを目的とする。 【事業内容】 市民によって組織されている各地域のコミュニティ協議会は、コミュニティセンターの管理運営および地域のコミュニティづくりのための様々な活動を行っている。コミセンを拠点として、「自主参加」「自主企画」「自主運営」という「自主三原則」に基づき、コミュニティ協議会が地域のコミュニティづくりのための様々な活動を行っている。コミュニティ協議会の活動を支援するため、補助金を交付している。 【前回からの変更点】 ・令和４年７月１日～令和５年３月31日　吉祥寺北コミュニティセンター休館	申請時期年1回。対象事業実施期間当該年度内。申請16協議会、交付決定16協議会。	市民活動推進課
26	13	むさしのばやしチビッコ教室	任意団体	その他	【目的】 市指定無形民俗文化財であり、郷土に150年以上も響き続けている「むさしのばやし」を、後世に伝承し、保存するために開設した。 【事業内容】 市指定無形民俗文化財である「むさしのばやし」の練習。 市民文化祭 郷土芸能のつどいにおける発表。	令和４年度 初級20人、中級・上級12人	生涯学習スポーツ課
27	6	菊花展の開催	武蔵野市千秋会	共催	【目的】 市民に菊を鑑賞する機会を提供し、緑の保護育成の意識の向上を図る。 【事業内容】 むさしの市民公園にて菊花作品の展示。「競技花厚物」・「競技花管物」・「厚物」・「管物」・「だるま厚物」・「だるま管物」・「盆栽」・「切花」・「嵯峨菊」・「福助」・「ドーム菊」・「一本立菊」それぞれの部門で、受賞作品を決定する。優秀作品については、市役所一階ロビーでの展示も行う。武蔵野市千秋会は、このほかに研修会や講習会も行っている。	第61回菊花展開催 最優等賞及び優等首席作品を一階ロビーに展示	緑のまち推進課
28	6	東洋蘭展の開催	武蔵野蘭友会	共催	【目的】 市民に蘭を鑑賞する機会を提供し、緑の保護育成の意識の向上を図る。 【事業内容】 武蔵野蘭友会の会員による、春の東洋蘭の展示を毎年３月におおやクリニック内・杉の樹ホールにて行う。	令和４年度　中止	緑のまち推進課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
29	6	武蔵野アール・ブリュット2022	武蔵野市アール・ブリュット実行委員会参加団体	実行委員会・協議会	【目的】 アートを通した多様性を大切にする地域づくりを進めるために、実行委員会を中心に、本市にゆかりのある人たちが出品・参加するアート展として2017年度から開催している。 【事業内容】 令和５年度の美術館での展覧会に向けて、令和４年度は、武蔵野アール・ブリュットの全市的な周知に取り組む期間とし、市内３駅周辺を会場として、これまでの活動のパネル展示や動画上映、ワークショップなどを実施した。	○武蔵野プレイスギャラリー　来場者数：延べ526名 ○はなこみち（吉祥寺駅南北自由通路）　来場者数：延べ445名 ○武蔵野タワーズスカイゲートタワー南側公開空地（タワーズ・マルシェ）　雨天中止	市民活動推進課
30	6	小中学校音楽活動支援事業	武蔵野市民交響楽団	委託	【目的】 小中学生の楽器演奏技術の向上及び専門知識の習得のため、技術指導等の支援を行うことにより、小中学生の音楽活動のより一層の発展を目的とする。 【事業内容】 武蔵野市民交響楽団に所属する団員が市立小中学校の吹奏楽部等に対して、ニーズに合わせた指導を行う。	11校に対して実施	生涯学習スポーツ課
31	6	中学校音楽活動支援・交流事業（むさしっこバンド！）	武蔵野市民交響楽団	委託	【目的】 市立中学生の演奏技術の向上・専門知識の習得及び、音楽活動のより一層の発展を目的とする。また同団との合同演奏では150人以上の規模で行われており、その練習・演奏を通じ、他校との交流や同団との交流を深めている。 【事業内容】 市立中学生の演奏技術の向上・専門知識の習得及び、音楽活動のより一層の発展を目的として、市内各中学校吹奏楽部員有志による合同バンド「むさしっこバンド！」を結成し、平成9年以来毎年、武蔵野市民交響楽団の準団員定期演奏会に出演している。同団との合同演奏では150人以上の規模で行われており、その練習・演奏を通じ、他校との交流や同団との交流を深めている。	平成9年度より毎年実施	生涯学習スポーツ課
32	6	市民文化祭事業	武蔵野市民芸術文化協会	委託	【目的】 芸術文化活動にいそしむ市民に、創造と発表の機会を提供し、併せて市民相互の交流を深めることを目的として開催する。 【事業内容】 市民による手づくりの文化祭を目指し、武蔵野市民芸術文化協会に企画・運営を委託して実施する。	25事業、参加者総数8,107人	生涯学習スポーツ課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
33	6	武蔵野市少年野球大会及び審判講習会開催	武蔵野市少年野球連盟	委託	【目的】 武蔵野市のおける競技スポーツを振興し、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。 【事業内容】 ①年３回の武蔵野市少年野球大会の開催 ②武蔵野市教育委員会が主催する児童の健全育成を目的とした武蔵野市少年野球大会及び審判技術向上の為の審判講習会の主管・運営	春季武蔵野市少年野球大会：20チーム参加、秋季武蔵野市少年野球大会：22チーム参加、少年野球大会：20チーム参加、審判講習会：101人参加	生涯学習スポーツ課
34	6	市民体育大会・体育祭開催	武蔵野市体育協会	委託	【目的】 武蔵野市における競技スポーツ及びレクリエーションスポーツを推進し、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。 【事業内容】 武蔵野市体育協会加盟団体が主管する種目について、市民体育大会及び市民体育祭を開催する。	市民体育大会：30種目実施、計4,462人参加 市民体育祭：34種目実施、計5,108人参加	生涯学習スポーツ課
35	6	各種体育事業	武蔵野市体育協会	委託	【目的】 武蔵野市における競技スポーツ及びレクリエーションスポーツを推進し、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。 【事業内容】 下記の事業を実施。 ①各種大会市代表選手等派遣 ②各種競技力向上事業開催 ③都民生涯スポーツ大会及び都民スポレクふれあい大会選手役員派遣 ④各種指導者養成講習会開催 ⑤自動体外式除細動器加盟団体貸出管理	①各種大会市代表選手等派遣：５大会に計440人の選手等を派遣 ②各種競技力向上事業開催：６種目実施 ③都民生涯スポーツ大会及び都民スポレクふれあい大会選手役員派遣：計150人の選手等を派遣 ④各種指導者養成講習会開催：８種目実施、計315人参加	生涯学習スポーツ課
36	6	体育協会運営補助金	武蔵野市体育協会	補助・助成	【目的】 武蔵野市における競技スポーツ及びレクリエーションスポーツを推進し、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。 【事業内容】 武蔵野市体育協会の運営に要する経費を補助。 【前回からの変更点】 補助金額の増額（令和元年度　13,100千円） 理由：東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機とした事業増加等に伴う事務員増員のため。	令和４年度　17,100千円	生涯学習スポーツ課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
37	7	緑ボランティア団体との共催・支援イベント事業	M's　Gardenみどりの食いしん坊、コミュニティファーム	共催	【目的】 緑は市民の共有財産として、市民の緑へ対する理解と啓発を図ることを目的とする。 【事業内容】 市と協定を結んでいる緑ボランティア団体によるイベント事業を通じ、市民へ緑の保全の大切さへの理解・啓発を図ることを目的に、公園を拠点に行う各種イベント・お祭り等の支援を行う。 【前回からの変更点】 緑ボランティア団体解散のため一部イベントを開催していない。	オープンガーデン（緑の創作園）来場者約300名、夏まつり（農業ふれあい公園）来場者約300名、秋の収穫体験会（農業ふれあい公園）来場者約220名 またコミュニティセンターなど地域の祭り・イベントに団体として参加しているもの、完全に独自の事業として行っているものなどがある。	緑のまち推進課
38	7	エコreゾートワークショップ	環境に関する市民団体や事業者など	事業協力	【目的】 幅広い層の市民に環境に対する関心を持つきっかけを提供するとともに、環境に関する市民団体や事業者に活動の場を提供すること。 【事業内容】 環境に関する市民団体や事業者などによる様々な活動紹介の展示やワークショップを行った。	来館者数　①夏季　7,299人　②冬季　5,770人	環境政策課
39	7	市民協働事業委託	クリーンむさしのを推進する会	委託	【目的】 ごみ減量の主体として大きな役割を担う市民・市民団体自らが、イベントをとおしてのごみ分別指導、分別案内所の運営、ごみ減量情報紙等の配布、ごみ減量に関する講座、お茶碗のリユース事業を市の委託事業として行うことで、ごみ減量について市民の意識向上や主体的な取り組みの促進を図り、同時に組織の活性化が行われることを目的とする。 【事業内容】 〔①ごみ分別案内所〕転出入の多い3月末に、主として転入届出を提出する市民を対象にごみの分別や出し方の案内、ごみ減量に関する啓発を実施する。 〔②ごみ減量情報紙配布委託〕ごみ減量に関する情報紙の全戸配布を委託している。 〔③３Ｒ連続環境講座〕生ごみからたい肥をつくり、それを使って野菜をつくることによって、ごみを減らすとともに、循環型社会の実現を目指した連続講座を実施。 〔④お茶碗リユース事業〕コミュニティセンターや各種イベント等にてお茶碗等を回収し、使用したい方にお茶碗等を譲渡することでごみ減量を図る取組みを行っている。	①５日間で、388名来所②79,000世帯×年2回③受講者31名⑤リユース量1,900ｋｇ	ごみ総合対策課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
40	7	農業ふれあい公園農業体験教室運営委託	特定非営利活動法人武蔵野農業ふれあい村	委託	【目的】 都市に潤いを与える緑の空間として、農の歴史と文化にふれる新たな緑の拠点となる農業ふれあい公園において、市民が楽しみながら都市農業に対する理解を深めることを目的に、農業体験教室の運営及び農業振興に関するイベント、ＰＲ、啓発活動等を行い、市民ニーズを反映した、適正かつ柔軟で弾力的な運営を目指す。 【事業内容】 公募市民に対して、４月から１月までの10ヶ月間、農業指導員により概ね月２回（年間20回）の農業体験教室を開催し、同じカリキュラムのもと、春夏野菜作り体験を通して身近な公園で土に触れ、農業に対する理解を深める。そのほか、共同栽培、キッズや未就学児を対象にした体験教室も実施している。	在住市民/募集世帯数令和４年度４事業計246世帯（農業体験教室47、共同栽培農業体験15、キッズ野菜栽培24、未就学児野菜収穫体験160）	緑のまち推進課
41	7	森林整備啓発事業委託	特定非営利活動法人武蔵野自然塾	委託	【目的】 二俣尾・武蔵野市民の森の保全と活用を通し、水源涵養、大気、森林保全、生態系保全といった自然環境に対する理解・啓発を目的とする。 【事業内容】 武蔵野市民等を対象に自然観察や森林の恵を楽しみながら、自然観察会、ウォーキングイベントを行う ①事業の企画書の作成、事業準備 ②自然観察会等の運営 ③事業実施後の報告書提出	令和４年度３回実施、参加者計31名	緑のまち推進課
42	7	学校緑化支援事業	21世紀校庭緑化研究会	委託	【目的】 教育委員会により芝生を設置した学校に対して、芝生の良好な育成のために必要な支援を行う。 【事業内容】 第一小学校・第三小学校・境南小学校・第三中学校の校庭芝生化に伴って、芝生に関する知識・経験を活かした作業を委託し、芝生の維持管理体制作りや、適切な運営・活用のアドバイスをお願いする。 【前回からの変更点】 前回調査時は境南小学校について年４回の巡回であったが、現在は全ての学校が年３回の巡回となっている。	学校巡回（年３回）を行い、校庭芝生の維持管理方法（運営・活用を含む）等に関する助言・指導を報告書として市に提出した。	教育企画課
43	7	学校ビオトープ管理・運営業務委託	武蔵野自然塾	委託	【目的】 教育委員会によりビオトープを設置した小学校に対して、ビオトープの適切な維持管理と児童の環境学習に必要な支援を行う。 【事業内容】 各小学校に配備されているビオトープの維持管理作業を行うとともに、児童向けに年に数回自然観察教室を開き、児童の環境学習を推進する。	年間48回を目安に維持管理作業と自然観察教室を実施し、毎月報告書を市に提出している。	教育企画課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
44	7	クリーンむさしのを推進する会活動事業費補助	クリーンむさしのを推進する会	補助・助成	【目的】 全市的なネットワークと参加者を擁する環境市民団体「クリーンむさしのを推進する会」の、ごみ減量運動、ごみ分別資源化の徹底その他の環境保全に関する活動に対して、補助金を交付することで、市民によるごみ減量及び環境保全に関する取り組みを支援する。 【事業内容】 主な事業は生ごみ減量・啓発事業、落ち葉のたい肥化事業、使い捨て容器削減・リユース食器の普及。ごみ減量へむけた市民集会の開催、地区ごとの地域集会の開催。各種研修会の実施。広報紙発行。市民協働事業の受託。市外環境団体との連携。	クリーンむさしのを推進する会総会年間活動報告のとおり ※目的を達成するために、令和４年度は年間267万8千円の補助金を支出した。	ごみ総合対策課
45	7	武蔵野市環境啓発事業費補助金	市内に事務所を置く特定非営利活動法人、市内を活動拠点とする市民団体	補助・助成	【目的】 環境啓発に関する事業に要する経費を補助することにより、市民活動団体の環境活動の活性化を図り、市民の環境に配慮した自発的な行動の促進に寄与する。 【事業内容】 一団体一事業５万５千円を上限として補助する。対象事業は、①講演会、シンポジウム、講習会、研修等の開催　②パンフレット、リーフレット等の作成　など。	申請１法人、交付決定１法人（交付額　38,425円）。	環境政策課
46	7	武蔵野市緑ボランティア団体事業助成	M's　Gardenみどりの食いしん坊、生きものばんざいクラブ他、計27団体（補助金交付は26団体）	補助・助成	【目的】 市内における緑豊かな生活環境を確保することを目的とする。 【事業内容】 緑の保全、緑化推進及び公園等の維持に関するボランティア活動を行っている団体（以下「緑ボランティア団体」という）の活動の発展を促し、その緑ボランティアの団体事業経費の一部を助成する。助成金の額は、助成事業に必要と認めて算定した額とし、１団体あたり上限を20万円を限度とする。	交付額： 3,401,000円（ 26団体）	緑のまち推進課
47	8	避難所運営組織による避難所開設・運営訓練に対する支援事業	「境南地域防災懇談会」、「大野田地域防災の会」などの避難所運営組織（全13団体）	その他	【目的】 「災害時は自助・共助・公助の連携」が重要なことから、各地域の避難所運営組織の活動を積極的に支援する。 【事業内容】 ・各避難所運営組織が実施する会議、訓練企画、防災訓練、地域に対する防災知識の啓発活動等に対して、職員の派遣、事例の紹介、物品の提供・貸与、資料の作成などを実施している。 ・上記活動を実施することで、地域住民の防災知識の向上、組織運営力の向上につなげている。 ・避難所運営組織が実施する訓練の形態は、「宿泊体験」や「資器材運転」、「支援物資の受領及び配布」、「災害時要援護者の安否確認」、「救助救出」、「初期消火」、「避難所開設」、「医療・福祉施設との連携」、「生徒・児童の引き渡し」など多様化している。	避難所運営組織13団体が実施する訓練など	防災課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
48	9	武蔵野防犯協会補助金	武蔵野防犯協会	補助・助成	【目的】 防犯協会が行う活動に要する経費の一部を補助することにより、市民の自主的な防犯活動を支援し、もって安全かつ安心なまちづくりを推進すること。 【事業内容】 補助の対象となる経費は、協会が行う次に掲げる活動に要する事業費である。 防犯意識の向上を図るために必要な啓発及び広報、パトロール及び街灯キャンペーン、防犯のための環境設備、防犯活動促進のために必要な人材及び団体の指導及び育成、市及び警察等の関係機関が開催する防犯に関する事業等への参加及び協力 武蔵野防犯協会補助事業実績報告書の提出を義務付けている。	2,700,000円	安全対策課
49	9	武蔵野母の会補助金	武蔵野母の会	補助・助成	【目的】 母親の立場からの青少年の非行防止活動、青少年を犯罪から守る活動、交通災害防止活動等に要する経費の一部を補助することにより、市民の自主的な青少年健全育成活動、防犯活動等を支援し、もって安全かつ安心なまちづくりを推進すること。 【事業内容】 補助の対象となる経費は、母の会が行う次に掲げる活動に要する経費である。 青少年の非行防止及び健全育成に係る活動、青少年を犯罪から守る活動及び環境浄化活動、非行少年・不良行為少年等の補導及び通報に係る活動、青少年の交通事故防止及び災害防止に係る活動 補助事業が完了したとき又は交付決定に係る会計年度が終了したときは、実績報告書の提出を義務付けている。	100,000円	安全対策課
50	9	武蔵野交通安全協会補助金	武蔵野交通安全協会	補助・助成	【目的】 交通事故、交通渋滞等の防止を図り、もって武蔵野市内の安全で住みよい交通環境を実現するため。 【事業内容】 ・交通安全及び放置駐車追放の思想の普及及び徹底 ・交通安全に関する教育及び広報 ・交通安全の活動を行う組織の育成及び指導 ・交通環境の整備及び改善 ・その他協会の目的を達成するために必要な活動	春・秋の全国交通安全運動期間中には、各種広報や街頭配置、激励巡視を実施した。また、４月から９月にかけて市内小学校で実施される交通安全教室に参加し、警察とともに交通安全教育を実施した。さらに、毎月の交通安全の日には、交通少年団や女性部会による交通ボランティアが参加し、街頭広報及び自転車マナーアップ作戦を実施した。 令和４年度には、4,560,000円の補助金を交付した。	交通企画課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
51	9	地域安全パトロール	武蔵野市市民安全パトロール隊	その他	【目的】 子どもの見守り、犯罪の未然防止を通じ、安心して暮らせるまちづくりを実現すること。 【事業内容】60名で組織された「武蔵野市市民安全パトロール隊」が、警察やホワイトイーグルとは違った観点での地域に密着したパトロールを実施する。パトロール活動は登下校時間帯を中心に、活動ジャンパー等を着用し、徒歩や自転車で行う。 市・警察・ホワイトイーグル等との情報共有を密にするため、市民安全パトロール隊委員会を２か月に１回実施している。	延べ3,045回のパトロールを実施	安全対策課
52	10	平和・憲法啓発事業	武蔵野市非核都市宣言平和事業実行委員会	実行委員会・協議会	【目的】 市民に戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えるため、平和や戦争体験の伝承を継続し、平和への意識を高めていく。 【事業内容】 ①憲法月間記念行事の開催（書道・絵手紙作品募集、講演会） ②夏季平和事業の開催（パネル展、映画上映、紙しばい、市民から寄せられた戦争関連資料の展示） ③平和の日事業（パネル展、ミニミニ空襲パネル展、講演会、市民から寄せられた戦争関連資料の展示）	①憲法月間記念行事 応募者数　書道作品125点、絵手紙・イラスト20点、憲法月間記念行事講演会　参加者数53名 ②夏季平和事業 パネル展開催、一般向けイベント参加者数54名、子ども向けイベント参加者数16名、市民から寄せられた戦争関連資料の展示 ③平和の日事業 パネル展開催、横断幕の掲示、コミュニティセンターでのミニミニ空襲パネル展開催、図書館ミニトピックス開催、講演会　参加者数185名、市民から寄せられた戦争関連資料の展示開催	市民活動推進課
53	10	世界連邦武蔵野支部補助事業	世界連邦運動協会武蔵野支部	補助・助成	【内容】 支部が世界の恒久平和と人類の福祉増進のために実施する、世界連邦建設運動を推進することを目的とする。 【事業内容】 世界連邦建設のために必要な国内及び国際運動、講演会、研修会、懇話会、早春のつどい等の開催、世界連邦新聞の配布、小中学生への平和思想普及のためのポスター及び作文コンクールの開催並びに展示会・表彰式の実施等への協力	世界連邦運動協会が主催する全国小・中学生ポスター・作文コンクールへ武蔵野支部として、作品の募集をし（7月～9月）、支部選考を行い、武蔵野プレイスにおいて、11月に応募作品のポスター・作文作品展示及び表彰式を開催（その後作品は中央審査に送付）。	市民活動推進課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
54	12	男女平等の推進に関する事業	武蔵野市立男女平等推進センター企画運営委員会	企画立案への参画	【目的】 武蔵野市立男女平等推進センターの運営に関して、地域から広く意見を求め、武蔵野市の男女平等の推進に関する事業を推進すること。 【事業内容】 次に掲げる事項について、協議及び検討を行う。 (1)　事業に係る学習講座、講演会等の企画及び運営に関する事項 (2)　男女共同参画週間に係る事業の企画及び運営に関する事項 (3)　女性に対する暴力をなくす運動に係る事業の企画及び運営に関する事項	男女共同参画フォーラム企画検討・講座企画検討等	市民活動推進課
55	12	男女共同参画週間事業団体企画	任意団体	委託	【目的】 男女平等の意識啓発。 【事業内容】 男女共同参画週間（6/23～29）に合わせて開催している「男女共同参画フォーラム」の一環として講座・イベントの企画を公募し、実施。	講座・イベント：３回、参加人数：延93人。	市民活動推進課
56	12	男女平等推進団体活動補助金	武蔵野市男女平等推進団体	補助・助成	【目的】 男女平等推進団体の活性化及び市の男女平等推進施策を効果的に実施する。 【事業内容】 市内の男女平等推進団体が行う男女平等社会の実現に向けての研修、調査及び研究活動に対して、その経費の一部を補助する。	申請・交付３団体	市民活動推進課
57	13	子育て・ゆりかごむさしのフェスティバル	※欄外に記載	実行委員会・協議会	【目的】 妊娠期から子育て家庭に対して、講座や親子でのあそびを通じて、リフレッシュを図り、子育ては楽しいものであると感じてもらうとともに、子育て支援関係の施設や団体の取組等の情報を発信し、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援をアピールする。 (1)行政や子育て支援施設・団体の取り組みや支援情報を発信すること（子育て支援情報の発信）。 (2)参加する子育て支援施設・団体と子育て家庭とが直接つながること（家庭と地域のつながり）。 (3)参加する子育て支援施設・団体同士の連携をより深めること。 【事業内容】 令和３年度の振り返り（実行委員の意見等）を踏まえ、実開催とし、令和３年度に引き続き、子育てフェスティバル（子ども子育て支援課所管）とゆりかごむさしのフェスティバル（健康課所管）を合同で開催した。 なお、10月を「子ども・子育て応援月間」とし、期間中に特設のホームページ「子ども子育てを応援するまち むさしの」を開設し、フェスティバルについても周知した。	来場者：545名（子ども231名、大人314名）	子ども子育て支援課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
58	13	CAPワークショップ	特定非営利法人　青い空－子ども・人権・非暴力 特定非営利活動法人青梅こども未来CAPプラム	事業協力	【目的】 子どもたちが犯罪に対してどのように自分の身を守るかを意識づけるために、「CAPワークショップ（子ども向け）」を実施する。また保護者等に対しても、そうした時の子どもたちの反応や心理状態、対応の仕方を理解させるため、「CAPワークショップ（大人向け）」を実施する。 【事業内容】 何か問題に遭遇した際、自分自身を守る行動を取れるようにすることや、近くの大人に相談できるようにすることを学ぶ。ワークショップは子どもの持っている力や可能性に子ども自身が気付く手助けをする（エンパワーメント）ための、ディスカッションやロールプレイ（子ども参加型の役割劇）を中心に構成されている。 武蔵野市青少年問題協議会（青少協）地区委員会が運営し、市立小学校の３年生とその保護者を対象に実施。	市内市立小学校６校でCAPワークショップを実施	児童青少年課
59	13	土曜学校「サイエンスクラブ」	特定非営利活動法人武蔵野自然塾（協力は７月２日のみ）	事業協力	【目的・事業内容】 学校では普段扱わない範囲の理科の研究・実験を、わかりやすく楽しみながら驚きや感動をもって体験することにより、科学への興味や知識を深めてもらう。 【事業対象】 市内在住・在学の小学5年～中学1年生 40人	全 10 回	生涯学習スポーツ課
60	13	むさしのサイエンスフェスタ2022	事業内容に記載のとおり	事業協力	【目的】 理科への関心や学ぶ意欲を向上させること。 【事業内容】 身近な科学実験を体験することを通じて、子どもたちに科学の不思議と面白さを感じてもらうイベント。サイエンスクラブ参加者をはじめ、市立小中学校教員や地域ボランティア、企業、大学等による体験型実験ブースを多数展示。 【事業対象】 市内在住または在学の小・中学生とその保護者 各回 200 人（全２回）	参加者458 人（うち入場者 351 人、出展者 107 人）	生涯学習スポーツ課
61	13	病後児保育室ラポール運営委託事業	特定非営利活動法人保育サービスひまわりママ	委託	【目的】 病気の回復期にあるが、家庭で療養することが困難な児童に対し病後児保育事業を実施することにより、保護者の子育て及び就労の両面を支援し、児童の健全な育成を図ることを目的とする。 【事業内容】 病気の回復期にあり、親の勤務・病気・介護等の理由により自宅で療養することが困難な０歳から小３までの市内に住所を有する児童を施設で保育する（定員４名）。	年間利用者数　延102名	子ども育成課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
62	13	ファミリー・サポート・センター事業	保育サービスひまわりママ	委託	【目的】 地域における子どもの預かり等の相互援助活動を支援する事業を実施することにより、施設来所型事業では対応できない子育て家庭への支援を充実するため。 【事業内容】 市内の育児の援助を受けたい方（ファミリー会員）と、育児の援助をしてくださる方（サポート会員）が、地域における育児の相互援助活動を行う。センターのアドバイザーが、両会員をマッチングし、活動を支援するとともに、サポート会員の養成を行う。	年間援助活動数　延2,511件	子ども子育て支援課
63	13	子育てひろばボランティア養成講座	新座子育てネットワーク	委託	【目的】 （１）武蔵野市主催の親子ひろば事業（コミセン親子ひろば、ふたご・みつごのつどい）等で活動するボランティアを養成する。 （２）現代の子育てを取り巻く状況を学び、地域における親子の多様な居場所（ひろば）の必要性を感じることで、受講者自身が新たな居場所やサークルを創出してみようとする気持ちを促す。 【事業内容】 「子育てひろば」など子育て中の親子を支援する場で役にたつ基礎知識を習得するための講座。受講者は市主催の「子育てひろば」にボランティアスタッフとして参加できる。	令和４年度は１回開催。 講座参加者数　15名	子ども子育て支援課
64	13	ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業	特定非営利活動法人保育サービスひまわりママ、公益社団法人 武蔵野市シルバー人材センター、株式会社日本介護センター	委託	【目的】 小学校３年生以下の児童がいるひとり親家庭において、修学、就労等又は生活環境の変化等によって、一時的に家事、育児等の援助を必要とする場合に、ホームヘルパーを派遣し、生活の安定を図る。 【事業内容】 小学校３年生以下の児童がいるひとり親家庭において、修学、就労等又は生活環境の変化等によって、一時的に家事、育児等の援助を必要とする場合に、ホームヘルパーを派遣し、生活の安定を図る。 ・対象：①ひとり親となって2年以内②職業能力開発施設等へ通学③就職活動等④疾病、冠婚葬祭等⑤就労等で支障がある ・利用料金：所得別自己負担あり	実利用家庭数 20世帯　　延利用回数 809回	子ども子育て支援課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
65	13	養育支援訪問事業	特定非営利活動法人保育サービスひまわりママ、社会福祉士等	委託	【目的】 児童虐待のおそれや児童の養育に困難があり特に支援が必要な世帯に対し、ヘルパーや、専門支援員を派遣することにより、児童虐待を防止し、当該世帯の適切な養育環境の確保と世帯の養育力の向上に向けた支援を行う。 【事業内容】 児童虐待のおそれや児童の養育に困難があり特に支援が必要な世帯に対し、家事や育児の援助を行うヘルパーや、養育等に関する助言・指導を行う保健師等の専門支援員を派遣する。 ・ 養育支援計画を作成し、計画に基づいた派遣を行う。 ・ 専門的相談支援による派遣は、1日1回で月2回を限度。 ・ 育児及び家事支援による派遣は、1日1回で週2回を限度。 ・ 支援の実施期間は、3か月以内。	実利用人数　24人	子ども子育て支援課
66	13	産前・産後支援ヘルパー事業	保育サービスひまわりママ、ワーカーズどんぐり、武蔵野市シルバー人材センター、日本介護センター	委託	【目的】 家事、育児等の支援を必要とする妊産婦のいる家庭に対し、ヘルパーを派遣することにより、産前産後期の家庭をサポートし、育児不安や虐待の予防を図る。 【事業内容】 産前産後の体調不良のために家事、育児等の支援を必要とする妊産婦のいる家庭に対し、ヘルパーを派遣して母子の身の回りの世話や家事援助を行う。 ・利用料金：1時間につき500円	延利用家庭数　322件、延利用日数1,338日	子ども子育て支援課
67	13	親子稲作体験	チーム・おぐに	委託	【目的】 友好都市・新潟県長岡市の協力を得て、都会を離れ家族での１泊２日の農業体験（田植え・稲刈り）を通し、家族の絆を深めるとともに、農業が食料生産だけでなく、自然環境保全にも果たす役割を学ぶ。また農業の楽しさ、大切さを体験する。 【事業内容】 ５月に田植え、９月に稲刈りを実施しており、現地でのプログラムや田んぼの管理などを長岡市小国町にあるチーム・おぐにに委託。	①田植え　５家族17名　②稲刈　５家族17名	児童青少年課
68	13	家族で楽しむ！二俣尾自然体験	特定非営利活動法人武蔵野自然塾	委託	【目的】 二俣尾・武蔵野市民の森「自然体験館」において、武蔵野市内ではできない自然体験を実施することで、森林を含む自然環境に対する意識の向上を図る。また家族を対象とすることで、事業参加を通して親子の絆を深めることを企図する。 【事業内容】 例年９月に同内容の日帰り事業を２日間実施している。	計７家族、20名	児童青少年課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
69	13	親子ひろば事業	特定非営利活動法人ぐーぐーらいぶ、武蔵野なかまほいくの会、Happy and Boon Buddy	委託	【目的】 ・乳幼児親子の居場所を提供するとともに、親子で遊ぶ楽しさを感じ、保護者同士の情報交換や友だち作りができる場となるよう保護者同士をつなげていく。 ・市内で活動している子育て支援団体の力を活かし、利用者のニーズに対応した広場を実施し、子育て家庭を支援する。 【事業内容】 市内で活動している子育て支援団体に、各種ひろば事業の企画・運営を委託する。	該当行事参加者実績（延べ）　222人 ※ぐーぐーらいぶに委託している「おはなしひろば」は行事参加者として集計していないため人数に含まない。	児童青少年課
70	13	プレーパーク事業	特定非営利活動法人プレーパークむさしの	委託	【目的】 1 「自由な発想で自由に遊べる」プレーパークでの遊びを通して、子どもたちが「土、火、水との触れあい」や「様々な年代との交流」をすることで、感性や生きる力を磨くこと。 2 子どもを通した地域コミュニティの活性化を促すこと。 【事業内容】 プレーパーク（境）、プレーパーク（大野田）、プレーパーク（松籟）を開催（各プレーパークには３名のスタッフを配置）。	令和４年度来場者総数（延べ） 20,896名	児童青少年課
71	13	地域子ども館事業推進会議	地域子ども館事業推進会議12地区	委託	【目的】 地域子ども館事業の運営方針、事業計画等を策定し、実施することにより、小学生の放課後及び長期休業日等の安全な居場所を確保し、また、異年齢の交流を通じて全児童対象の視点で子どもの健全育成を図る。 【事業内容】 地域子ども館の運営に関すること。地域子ども館推進会議12地区 ・地域子ども館の運営及び活動の評価 ・年間事業計画及び予算の協議 ・事業及び決算の評価 ・イベント事業の企画及び実施 地域子ども館では、学童クラブ事業及びあそべえ事業（教室開放・校庭開放・図書室開放）を行っている	地域子ども館推進会議12地区	児童青少年課
72	13	中高生リーダー講習会	特定非営利活動法人武蔵野自然塾	委託	【目的】 地域社会の指導者としての役割を担える人材を育成するため、市内在住・在学の中高生を対象に、養成講座を実施する。 【事業内容】 中高生リーダーとしての心得、子どもとの接し方、ジャンボリーサブリーダーについての講義及びデイキャンプ講習、救急法講習を実施する。	ジャンボリーサブリーダーに関する講義	児童青少年課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
73	13	若者サポート事業	特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク	委託	【目的】 人とのつながりや次のステップに踏み出す足がかりを求めている青少年に対し、自分の進路を見つける手助けを行うことで、青少年の健全な成長をサポートし、社会参加や自立につなげていく。 【事業内容】 本人や家族、関係者との個別相談を行い、それぞれのニーズに合わせた支援を行う。個別相談以外にも居場所の提供や仲間づくり、学習支援などの様々なプログラムを行い、若者が自立するために必要な支援を行う。	個別相談の実施 居場所や活動の場の提供（延べ244回開催）	児童青少年課
74	13	認証保育所運営費等補助金	特定非営利活動法人かっぱの家	補助・助成	【目的】 多様化する保育ニーズに応えるため、東京都が認証する保育所に対し、運営経費を補助することにより、児童福祉の増進を図ることを目的とする。 【事業内容】 東京都が独自の基準を定めて認証した保育所の運営を行う。定員30名。対象０～５歳。特定非営利活動法人は１団体のみ。	年間入所市民児童数　延260人	子ども育成課
75	13	小規模保育事業	※欄外に記載	補助・助成	【目的】 保育を必要とする児童の適切な保護を行うことや、満３歳未満児の受入れ先の確保を目的とする。 特に、「満３歳未満児の待機児童対策、地域の実情に応じた多様な目的に活用できること」、「多様な主体が、多様なスペースを活用して質の高い保育を提供できること」、「保育所分園やグループ型小規模保育、地方単独事業など、様々な事業形態から移行できること」を小規模保育事業の大きな目的としている。 【事業内容】 保護者の就労・病気・介護等の理由により、日中の保育を必要とする、市内に住所を有する満3歳未満の児童を施設で保育する。定員６人以上から19人以下の少人数で行う保育。 子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、平成27年度より小規模保育事業として実施した。	令和４年度末時点において、14園で実施。	子ども育成課
76	13	共助による子育てひろば事業（補助金）	※欄外に記載	補助・助成	【目的】 コミセンにおいて子育てひろば事業を実施する団体に対し、事業に係る経費の一部を補助することにより、共助による子育て支援の充実を図るとともに、子育て家庭同士の交流の機会を提供し、もって地域の活性化に資する。 【事業内容】 コミセンで週１回程度（最低月２回）の子育てひろば事業を実施する団体に運営にかかる必要経費を補助金として交付する。	7コミセンにて事業実施	子ども子育て支援課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
77	13	すくすく泉事業	いずみの会	補助・助成	【目的】 多様化する子育て支援ニーズに対応した子育て支援施設を整備し、地域参加による施設運営を行うことで、地域社会全体による子ども・子育て支援を推進する。 【事業内容】 子育てひろば・一時預かり・小規模保育の３つの機能を提供する複合型の子育て支援施設「すくすく泉」を運営する、地域住民で組織した特定非営利活動法人に対して運営費を補助する。	延利用者数　子育てひろば：9,016人、一時預かり：1,148人 小規模保育　10名（令和５年３月末現在）	子ども子育て支援課
78	13	とことこおやこひろば補助事業	子育て応援スペースとことこ	補助・助成	【目的】 とことこおやこひろばが行う事業に対し補助を行うことにより、地域社会全体による子ども及び子育てに必要な支援を充実させることを目的とする。 【事業内容】 とことこおやこひろばで実施される「子育てひろば事業」（未就学児同士又はその保護者同士が相互の交流を行う場所の提供、子育てについての相談、情報の提供、助言、講習等の実施その他の援助））に対し補助金を交付することにより、地域社会全体による子ども及び子育てに必要な支援を充実させる。	延利用者数　2,151人	子ども子育て支援課
79	13	青少年関係団体バス借上料補助金	青少年関係団体登録団体	補助・助成	【目的】 青少年の健全育成を図るため、青少年関係団体の活動を育成し、及び援助することを目的としている。 【事業内容】 子ども会や少年スポーツ等の登録団体が、バスを使用して合宿等を行う場合に、そのバスの使用料の一部を補助する。	青少年関係団体登録団体　13団体	児童青少年課
80	13	青少年関係団体講師謝礼補助	青少年関係団体登録団体	補助・助成	【目的】 青少年の健全育成を図るため、青少年関係団体の活動を育成し、及び援助することを目的としている。 【事業内容】 子ども会や少年野球チーム等の登録団体が、外部の講師を招いて、広く一般の子どもを対象とした、講習会等を実施する場合に、その講師謝礼金の一部を補助する。	青少年関係登録団体　１団体	児童青少年課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
81	13	青少年問題協議会・地区活動事業	青少年問題協議会委員、地区委員	補助・助成	【目的】 青少年問題協議会（青少協）は、青少年に関する総合的施策に関する重要事項の調査審議・連絡調整を行う。青少協地区委員会は、青少協の実施機関として青少年の育成に関する事業を実施する。 【事業内容】 青少年問題協議会は、市長を会長として市、関係機関・団体、市議会議員により構成し、定例会（年４回）及び臨時会を行う。 青少協地区委員会は、青少年育成を目的として、むさしのジャンボリー、地域行事、安全対策等を実施する。	青少年問題協議会委員30名、地区委員12地区1,410名	児童青少年課
82	13	子ども若者支援試行事業	特定非営利活動法人プレーパークむさしの	補助・助成	【目的】 中学生、高校生等の青少年が抱える社会的自立に困難な状況（不登校、非行、将来への不安、引きこもり等をいう。）に寄り添い、かつ、社会的関係づくり、進路に向けた学習・就労等の支援を行う者に対して、当該事業に要する経費の全部又は一部を補助することにより、青少年の健全な育成に資することを目的とする。 【事業内容】 事業対象者へ以下の６つ事業を実施した。 (1)関係づくり事業　(2)個別相談事業　(3)グループ活動事業　(4)学習支援事業　(5)就労支援事業　(6)遠足事業	補助金額　3,995,000円	児童青少年課
83	13	子育てひろばネットワーク会議	※欄外に記載	情報提供・情報交換	【目的】 子育てひろばの運営主体同士で、「①情報交換を図る」ことで、「②地域の課題と情報を共有」し、利用者に対して適切な支援につないでいく。また各ひろばで気になるケース等が生じた場合には「③専門機関へつなぐ」ことが求められることから、子ども家庭支援センター・健康課・ハビットなどもネットワークの一員とすることで、子育てひろばと専門機関との連携体制を強化する。 【事業内容】 子育てひろばを運営・実施している施設や機関、団体関係者でネットワークを構築し、情報交換や先進事例の報告、スキル向上のための研修会等を実施する。	参加者数：33施設団体39名（行政機関等を含む）	子ども子育て支援課
84	18	くらしフェスタむさしの2022（第44回武蔵野市消費生活展）	くらしフェスタむさしの2022実行委員会	実行委員会・協議会	【目的】 市内消費者団体の活動支援と消費者問題の発信。 【事業内容】 ・参加団体による活動内容（研究成果）の発表と展示、冊子の作成 ・公開講座「18歳成年年齢引き下げ～本人＋周りの人に覚えておいてほしいこと～」 ・体験教室「使用済み封筒を使ったペンケース作り」 ・二次展示（市役所１階ロビー）	参加団体6団体、本展示・二次展示、来場者数116人 （公開講座は19人来場）	産業振興課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
85	18	消費者団体事業助成	武蔵野市消費者運動連絡会	補助・助成	【目的】 消費者団体の活動の活性化を図る。 【事業内容】 消費者団体バス借り上げ助成。消費者団体講座講師謝礼金助成。	令和４年度は中止	産業振興課
86	19	社会福祉法人武蔵野関係事業（委託費は発生していない）	社会福祉法人武蔵野	協議会・実行委員会	【目的】 市内在住・在勤の障害のある方々が主役になって楽しみ交流する機会であると共に、多様性の社会と相互理解を目指して、ボランティアや市内福祉団体の協力を得ながら開催する。 【事業内容】 作品展示、ゲームコーナー、フリーマーケット、自主製品販売コーナー、ボッチャ、創作ワークショップなど	来場者　約855人	障害者福祉課
87	19	地域猫対策協働事業	むさしの地域猫の会	補助・助成	【目的】 生活公害となる糞尿被害や鳴き声に対する改善をはかり、人と猫が快適に共生するまちづくりへの寄与。 【事業内容】 ①餌やりには後片付けと糞尿清掃が必須なこと、繁殖防止への認識の浸透促進、および繁殖防止の実践のために、飼主のいない猫を捕獲して不妊去勢手術費用の一部助成を行う。 ②会員が余儀なく保護した猫の譲渡会を年２回市と共催で実施、飼い主のいない猫の減少を図る。 ③市の行事に参加して地域猫活動のＰＲと問題の解決に努める。	・不妊去勢手術件数：オス9頭、メス10頭（その他、団体単独の助成実績あり） ・飼い主のいない猫の譲渡会：参加26頭・申込14頭（その他団体単独実施あり）	環境政策課
88	19	特定非営利活動法人補助金交付事業	市内に事務所を置く特定非営利活動法人	補助・助成	【目的】 武蔵野市に事務所を置く、特定非営利活動法人（以下「団体」という。）が行う公益活動に要する経費の一部を補助することにより、団体の健全な発展を促進し、公益の増進に寄与することを目的とする。 【事業内容】 1団体1事業20万円を上限として補助する。交付決定団体には12月に交流会、３月に実施事業の報告会を実施する。	申請：12団体 交付決定：12団体 交付額：1,601,840円	市民活動推進課
89	19	クラウドファンディング活用促進事業	クラウドファンディングを活用して公益事業を実施する、市内で活動するに市民活動団体等	補助・助成	【目的】 市民活動団体の自律的な資金調達と支援者の拡大を図り、市民活動を活性化させ、公益の増進に寄与すること。 【事業内容】 補助対象事業に関してクラウドファンディング事業者に支払う手数料を補助する（上限10万円）。	２件	市民活動推進課

番号	分野	事業名	協働の連携相手	形態	目的と事業内容	令和４年度の実績	所管
90	21	第30回武蔵野桜まつり	武蔵野桜まつり実行委員会 ※その構成は欄外に記載	会　実行委員会・協議	【目的】 「住んでよかった　ふるさとは武蔵野」をスローガンに、ふるさと意識の醸成を図る。 【事業内容】 ・市内の桜紹介 ・友好都市の観光情報、市内物産紹介 ・イラストコンテスト ・関連試行事業として市内回遊性謎解き企画を実施	実施日時：令和４年３月15日から令和４年12月26日/アクセス実績（2/15～11/30） ページビュー数　11,409回	産業振興課

※（No.14）川路さんち（グループ萩の会）、月見路（グループ撫子）、そ～らの家（グループ萌黄）、きんもくせい（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団）、花時計（ゆう３）、くるみの木（特定非営利活動法人ワーカーズどんぐり）、ふらっと・きたまち（大野田福祉の会teamふらっと）

※（No.15）吉祥寺ささえあいビレッジ（特定非営利活動法人　ささえあいビレッジ）、公園口サロン（七つ星の会）、御殿山サロン（むらさきの会）、すこやかサロン（特定非営利活動法人　武蔵野すこやか）、北町サロン（北町サロンの会）、サロン扶桑通り（サロン扶桑通りの会）、健康長寿になる方法を学ぶ会（東京ヘルスケア介護予防研究会）、むチューいきいきサロン（武蔵野市中央地区商店連合会）、サンサンサロン西久保（三丁目サロンの会）、まきばサロン（まきばサロンの会）、いちょうなみ木サロン（いちょうなみ木サロンの会）、健康ウォークサロン八幡町（スマートヘルスプロジェクト）、なのはなサロン（関前なのはな会）、ルンルンサロン（特定非営利活動法人ＤＡＮＫＡＩプロジェクト）、どんぐり広場（どんぐり友の会）、マルセサロン（はなみずき）、サロンきずな（きずなの会）、さわやか（さわやかクラブ）、五丁目クラブ（五丁目クラブの会）、ikiなまちかど保健室（株式会社みゅうちゅある）、駅前ｄｅスマホ（駅前ｄｅスマホ）、G'sガーデン（G'sガーデングループ）

※（No.75）特定非営利活動法人子育て応援スペースとことこ、特定非営利活動法人保育サービスひまわりママ、特定非営利活動法人ワーカーズどんぐり、株式会社すみれ、株式会社みらい開発研究所、株式会社エムズライン、株式会社カルガモ保育室、特定非営利活動法人いずみの会、ひかりナーサリー株式会社、株式会社ナチュラル、特定非営利活動法人チャイルドホーム
※（No.76）本宿コミセン（さんりんしゃの会）、吉祥寺南町コミセン（吉祥寺南町コミュニティ協議会）、吉祥寺北コミセン（サニーママ武蔵野）、中央コミセン中町集会所（いずみの会）、西久保コミセン（西久保コミセンひろばピノキオ）、八幡町コミセン（はちコミほんわか隊）、西部コミセン（境おやこひろば）
※（No.83）さんりんしゃの会、吉祥寺南町コミュニティ協議会、サニーママ武蔵野、いずみの会、西久保コミセンひろばピノキオ、はちコミほんわか隊、境おやこひろば、中央福祉の会（親子ニコニコ広場）、吉西福祉の会（ひろばひよこ）、ぐーぐーらいぶ、保育サービスひまわりママ、子育て応援スペースとことこ、プレーパークむさしの、わらべうたの会　げっくりかっくり、武蔵野なかまほいくの会、ＨＢＢ（Happy and Boon Buddy）、むーふぁみマップ、SomLic、けやき こもれびひろば、境南地域社協「くまのこひろば」、吉祥寺おもちゃ図書館、まちの保育園 吉祥寺、武蔵野市子ども協会、武蔵野千川福祉会、武蔵野市民社会福祉協議会、武蔵野健康づくり事業団、武蔵野市助産師会、武蔵野市子ども協会、他行政機関

※（No.90）武蔵野商工会議所、武蔵野市商店会連合会、武蔵野市消防団、武蔵野市コミュニティ研究連絡会、クリーンむさしのを推進する会、武蔵野市老人クラブ連合会、武蔵野市青少協地区委員長会議、武蔵野交通安全協会、武蔵野市民芸術文化協会、武蔵野市体育協会、武蔵野市立小中学校PTA連絡協議会、（社）武蔵野青年会議所、関東バス㈱武蔵野営業所、（公財）武蔵野生涯学習振興事業団、市職員関係